

見どころいっぱい (丹生川ダム周辺の名所・旧跡)



飛騨古川まつり会館
日本三大奇祭の一つ「古川まつり」が年間を通して楽しめる博物館。屋台や御輿の展示のほか、「起し太鼓」の映像などを見ることができます。



太平山安国寺
ご本尊は釈迦由来で14世紀前半に創立されたと伝えられています。本堂の横の石段を登った所に国宝の経蔵があります。



木地屋溪谷
荒城川上流のブナ原生林などすばらしい自然の宝庫です。初夏の新緑、秋の紅葉が見事です。



恵比須之湯
総ヒノキ造りで、掛け流しの露天風呂が付いています。露天風呂からは荒城川溪谷の滝が眺められます。



千光寺
高野山真言宗の名刹千光寺は、円空仏で有名です。円空展示館では約60体の円空仏を見ることができます。



飛騨大鍾乳洞
約800mにおよぶ鍾乳洞で、細い鍾乳石ヘリタイトは、日本でもここだけの貴重なものです。



乗鞍スカイライン
海拔2,702mの畳平まで登る山岳ハイウェイ。北アルプス連峰の大パノラマと、ハイマツ、高山植物が見どころ。



※写真資料提供/高山市、飛騨市



大きな安心と恵みの水を届けます。

丹生川ダム

岐阜県高山土木事務所

〒506-8688 岐阜県高山市上岡本町7丁目468番地 TEL:0577-33-1111 FAX:0577-33-1086

郷土をおそう、水の脅威。

急流の荒城川は、昔からたびたび災害をもたらし、改修事業も行われてきました。

しかし昭和46年、58年の台風は大きな被害を引き起こし、
また平成11年の集中豪雨による水害は記憶に新しいところです。

その一方、流域住民や耕地は、しばしば深刻な水不足に見舞われ、
さらに人口増加や下水道整備等によって水道用水の需要も
急増しており、その水源が荒城川に求められています。

こうしたなかで、荒城川総合開発事業の一環として進められる
丹生川ダム計画には大きな期待が寄せられています。

当事者であるみなさんと協働しながら、

河川整備をすすめています。



平成11年6月の梅雨前線豪雨(飛騨市古川町今宮橋)の荒城川



平成6年8月の濁水状況(飛騨市古川町片原町、古川小学校前)

地域住民 の声

普段は清らかに流れている荒城川ですが、平成11年6月の集中豪雨で、生まれて初めて川の恐ろしさを体験しました。家のすぐそばにある今宮橋も、今にも流されそうな勢いで、本当に身の縮まる思いでした。以来、梅雨の季節が来るたびに不安になります。孫の世代まで安心して暮らせるよう、一日も早い丹生川ダムの完成を期待します。(飛騨市古川町在住 女性)

私は、丹生川ダム建設地より下流の高山市内に住んでいます。平成11年6月に発生しました梅雨前線に伴う集中豪雨により、荒城川が増水し、護岸及び農地、道路等に大きな被害を受けました。毎年田畑の農作業をしていますが、平成11年は5月に植え付けしたばかりの水田が水につかり大変がっ

かりました。一日も早く、丹生川ダムを完成していただき、下流住民が安心して暮らせるようお願いします。

(高山市丹生川町在住 男性)

荒城川周辺のは場整備事業により、大区画の美田と農道、水路が整備され、この度、換地手続きも完了して今後の農業経営に夢をはせていました。しかし平成11年4月の集中豪雨によって護岸等が被害を受け、6月の豪雨では堤防が決壊、用水路と農道、水田が流されてしまいました。さらに雨量の少ない年は農業用水が不足し、減収を余儀なくされています。安定した生活を送るためにも、丹生川ダムの完成が心より待たれます。(高山市国府町在住 男性)

安全と安心は、人がつくるもの。

流域住民の多くの方が心から望まれている、安らかな暮らし。

しかし川という自然を相手にしている限り、
それはたやすく手に入るものではありません。

荒城川に丹生川ダムが完成すれば、
次の3つの「安全・安心」をお届けすることができます。

水害から守る

ダム地点の計画高水流量200立方メートル/秒のうち、130立方メートルの洪水調節を行うことで、荒城川沿川流域を水害から守ります。



既得取水の安定化と 河川環境の保全等

ダム地点より下流の荒城川において、既得取水の安定化および河川環境保全等のため、流量を確保します。



丹生川ダムの目的

水道用水に利用する

丹生川町南西地区(町方、大谷、北方、新張、大萱等)を対象に、水道用水として新たに350立方メートル/日の取水を可能にします。



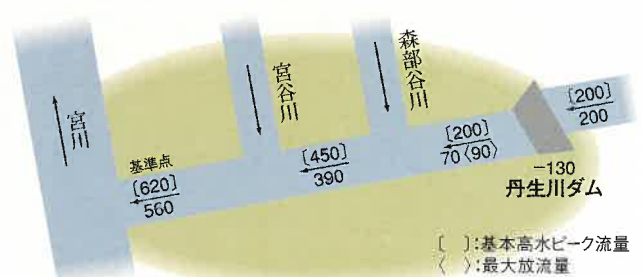
総事業費 約267億円

事業経緯	昭和50年度	実施計画調査着手
	平成元年度	建設事業着手
	平成2年度	工事用道路着手
	平成4年度	損失補償基準の協定締結
	平成5年度	水没移転者の集団移転完了
	平成6年度	付替道路工事着手
	平成13年度	転流工・貯水池止水工事開始
	平成15年度	本体工事開始
	平成18年度	ダム本体コンクリート打設開始
	平成22年度	ダム本体コンクリート最終打設
	平成23年度	試験湛水開始
	平成24年度	完成

洪水や渇水を防ぐ

■計画高水 量配分図

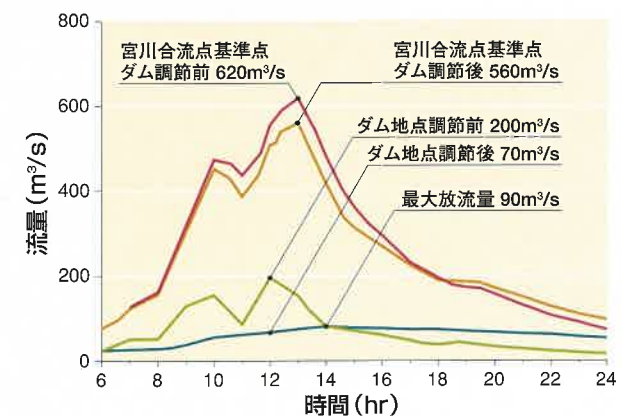
宮川の治水計画では、基準点ごとにその計画流量が定められています。基準点の*基本高水ピーク流量620m³/sを560m³/sになるよう丹生川ダムで調節します。



*基本高水ピーク流量とは、治水計画で対象とする規模の洪水が、基準地点を通過する時の流量の最大値。

■洪水調節計画図

ダム地点の計画高水流量 毎秒200m³のうち130m³をダムで貯留し、ダムからは残りの毎秒70m³を下流に流し、下流の洪水被害を抑えます。



■貯水池容量配分図

丹生川ダムの貯水容量は530万m³です。そのうちの250万m³を水道やかんがい、環境保全に使い、残りの280万m³が洪水の時に水を貯めておく容量になります。



■丹生川ダム流域図



ダムの規模

■ダム諸元

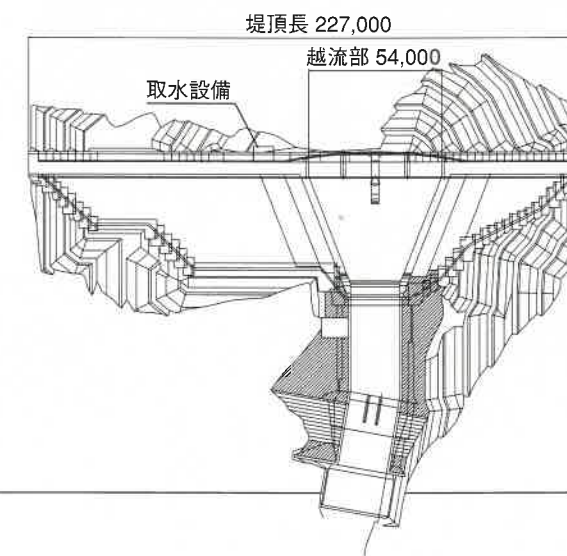
位 置	岐阜県高山市丹生川町折敷地
型 式	重力式コンクリートダム
堤 高	69.5m
堤 頂 長	227.0m
堤 体 積	231,000m ³
計画高水流量	200m ³ /s
ダム設計洪水流量	630m ³ /s
ダム天端標高	EL. 873.5m

■貯水池諸元

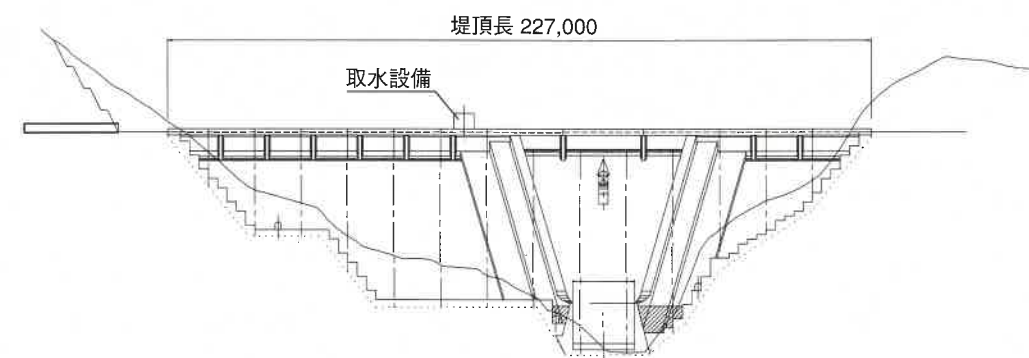
集水面積	23.0km ²
湛水面積	0.32km ²
総貯水容量	6,200,000m ³
有効貯水容量	5,300,000m ³
堆砂容量	900,000m ³
設計洪水水位	EL. 871.0m
サーチャージ水位	EL. 868.0m
常時満水位	EL. 857.0m



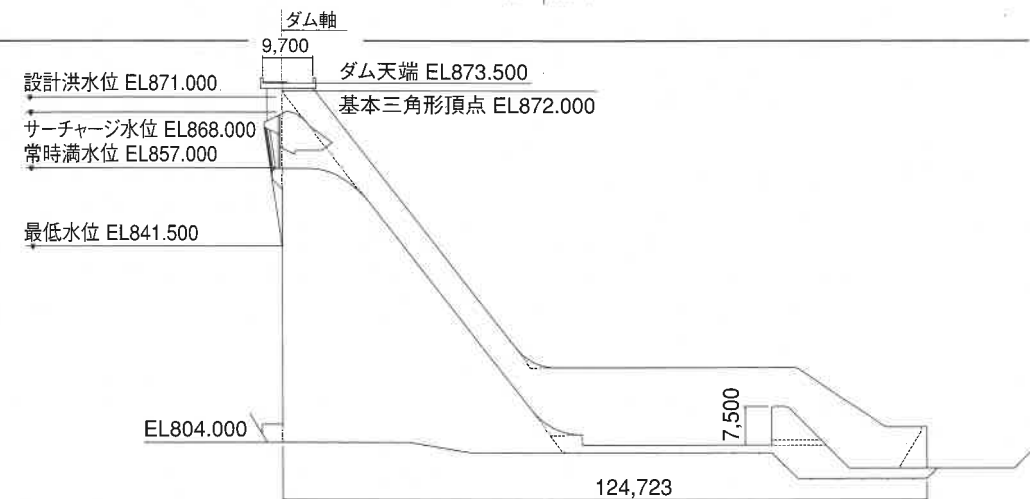
■ダム平面図



■ダム下流面図



■越流部標準断面図



丹生川ダム管理施設図



選択取水塔



網場



取水設備



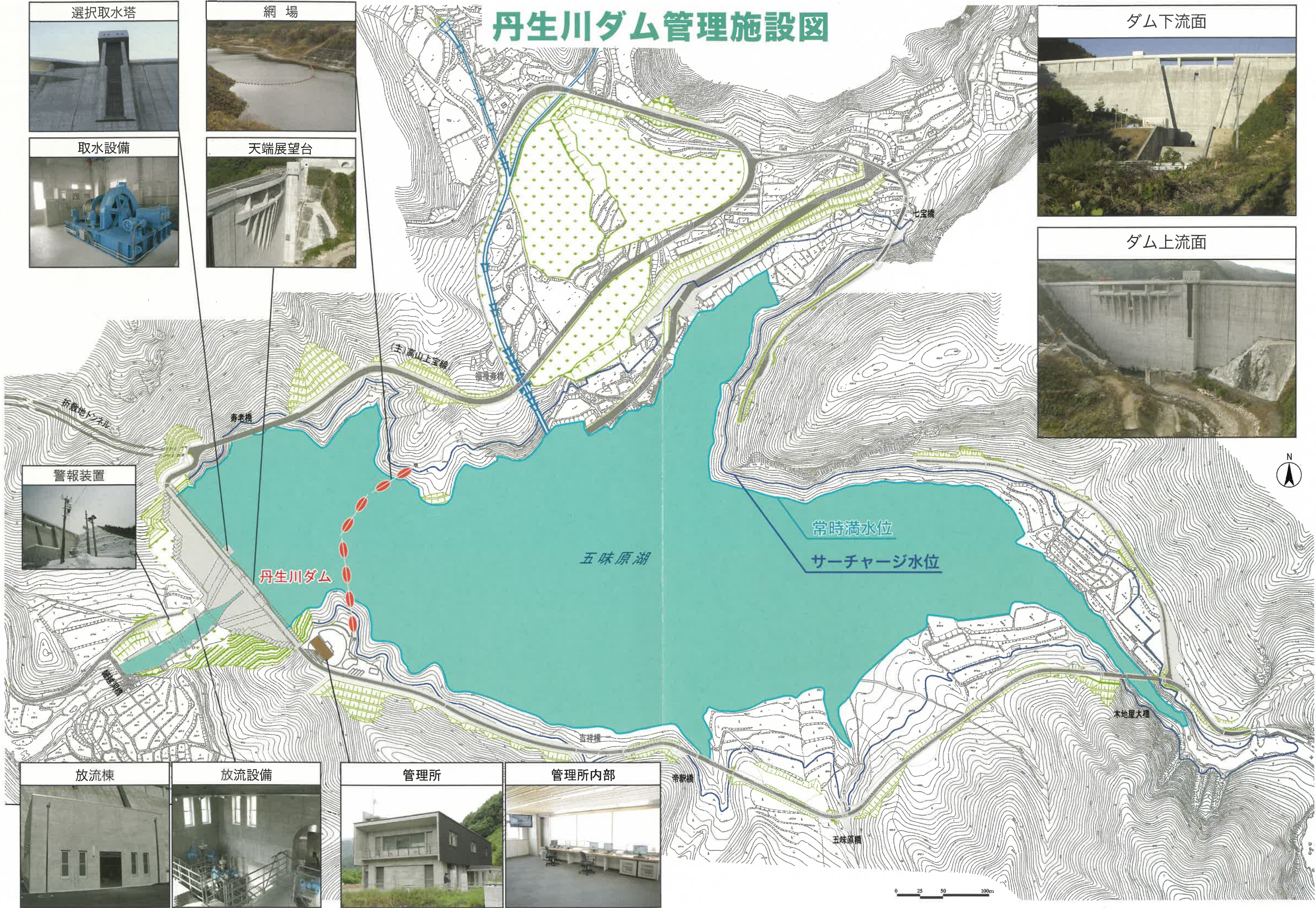
天端展望台



ダム下流面



ダム上流面



警報装置



放流棟



放流設備



管理所



管理所内部

0 25 50 100m